

コールについて

レディ	マッチ開始の前の練習をやめさせ、プレーヤーを位置につかせるコール
フットフォールト	サイドライン及びセンターマークのそれぞれ仮想延長線の間で、ベースラインの外側で行わなかった場合
フォルト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービスされたボールが直接正しいサービスコートに入らなかった場合</li> <li>2. サービスをしようとして手から放したボールを打たなかった場合</li> <li>3. サービスをしようとしてボールを2個手から放したり、落とした場合</li> <li>4. サービスをする際、ボールがラケットに2回以上当たった場合</li> <li>5. サービスされたボールが直接アンパイヤーや審判台等又はパートナーの身体やラケット、着衣に触れた場合</li> </ol>
ダブルフォルト	第1サービス及び第2サービスともにフォルトとなった場合
アウト	打球がアウトコートに落ちた場合、又は直接そのマッチのアンパイヤー、審判台等に触れた場合
ダイレクト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サービスサレタボールがノーバウンドでレシーバーの身体、着衣、ラケットに触れた場合</li> <li>2. 打たれたボールをアウトコートにおいて、ラケットで有効返球できなく、打ち返した場合</li> </ol>
タイム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレーヤーに突発的な身体上の故障が生じ、ぷれーの継続ができなくなった場合</li> <li>2. 何らかの理由によってプレーを中断する場合。</li> </ol>
ノータイム	タイムが終わってプレーを再開する場合
ネットタッチ	インプレーでラケット、身体、着衣等がネット、ネットポストに触れた場合 (帽子やタオル等が地面に落ちた後ネットに触れてもネットタッチにはならない。)
ネットオーバー	インプレーでラケット、身体、着衣等が一部でもネットを越した場合(空振りも含む) (ただし、打球後の惰性で越えてもインターフェアにならないければ、ネットオーバーにはならない。)
スルー	ボールがネットの破れ目、ネットの下又はネットとネットポストの間を通った場合
ボディタッチ	インプレーのボールが身体又は着衣等に触れた場合
チップ	ボールがラケットのフレームに触れて返球できなかった場合
ツーバウンズ	2回以上バウンドしたボールを打った場合

ドリブル	打球のときボールが2回以上ラケットにあたった場合
キャリー	ラケット上でボールが静止した場合 (ラケットのいちよう部分の開いている三角形の空間に挟まって止まった場合も含む。)
インターフェア	1.有効にサービスされたボールがツーバウンドする前に、レシーブするプレイヤーのパートナーのラケット、身体、着衣に触れた場合 2.レシーブをするプレイヤーがレシーブを終わる前に、パートナーがそのサービスコートに触れた場合 3.レシーバーの順番を同一ゲーム中に替える違反が発見された場合 4.ラケット、身体又は着衣が、相手方コート、相手方プレイヤーのラケット、身体又は着衣に触れた場合 5.手から離れたラケットで返球した場合 6.明らかな打球妨害になった場合 7.プレイヤーがボールの痕跡をプレイヤー自身で消した場合
コレクション	正審がコール又はカウントを誤ったとき訂正にあたってコールする。
ローテーションチェンジ	パートナーと交替することを命ずるコール又はサービスコートの順序が誤っていることを知らせるコール
レッツプレー	連続的にプレーすることを命ずるコール
リタイヤメント	棄権を宣告するコール (試合結果の表記をする場合はRとする。) (タイムアップゲームセットのコールにつづけてコールする。)
ディスクオリフィケーション	失格を宣言するコール (試合結果の表記をする場合はDとする。) (レフェリーストップゲームセットのコールにつづけてコールする。)